



線路に 季節外れの白い雪が……未来へのプレゼント？



福井新～花堂間の南福井踏切 / 福井鉄道 / 撮影田山 / 関連記事 5 ページ

活動報告

2月24日 LRT研究会 (IRE)
3月 9日 IRE研究会 (IRE)
13日 ROBA例会・理事会

今後の予定

3月15日(日) まちづくりフェスタ
末日 のりのりマップ第6版予定
4月3日(金)～5日(日)
4月10日(金)～12日(日)
ふくい春まつりレンタサイクル事業
4月17日(金) ROBA例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介 part1

まっとうな経済学 ティム・ハーフォード著

遠藤真美訳 ランダムハウス講談社 1800円

ISBN 270-00144-5 C0030

価格は労働価値の反映という説もあるが、希少性の反映という説もある。希少な資源を探して確保する労力が希少性の尺度とすれば二つは同じことを言っている。悪い政府、業界団体は、自分たちの地位を守るため意識的に希少性を作り出す。希少性をキーワードに喫茶店のコーヒーから腐敗した政府まで、例示を交えてわかりやすく解説する経済啓蒙書の傑作と言える。土地利用規制を厳しくすると、開発できる土地の希少性が生まれて地価は高くなる。それは地主と都市計画屋の地位を高めるための陰謀と安価な土地を求める勤労者が疑ったとき、我々はそれに反論する理論を持っているだろうか。今、都市計画法の改正に向けて行われている論争の裏側の真実が見えたようだ。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

●はじめに

昨年(2019年)の11月に新潟で第6回全国バスマップサミットが開催され、次回を沖縄で決めました。その沖縄で中心的に活動している(特)オムニバスデザイン社の谷田貝氏より、標記セミナーの講師の1人として出席しました。もう1人は仙台でバスマップなどを作成している仙台施策フォーラムの足立女史です。

今回のセミナーは、バスマップセミナー～バスではじまる便利な暮らし(仮称)～と題し、(特)オムニバスデザイン社、沖縄県地球温暖化防止活動推進センターとの共催で2月22日(日)午後2時から5時まで那覇市NPO支援センター 会議室で開催され、環境系の市民団体、那覇市役所など30名近くの方が出席、沖縄琉球王朝始まって以来の歴史的出来事(?)として「バスマップ」が完成したことの報告と今年開催する「バスマップサミット in 沖縄」のプレサミットの意味合いで開催されました。

●なぜ私が?

谷田貝氏云く、マップづくりはどちらかというと、男性的なイメージがあるなか、女性の手で利用者に便利なマップ作りを展開しているということで足立女史が選ばれ、私の場合は、ROBAの一員ということもさることながら、カーフリーデーでの活動、沖縄市との人脈的交流があるということで選ばれたとのこと。そういえば、谷田貝氏とは、バスマップサミット、カーフリーデー会議やその他の交通系の会合で顔を合わすことが多かったのも一因かと思った次第です。

現地で沖縄会員の川口さんともお会いしました。聞くところによると、5月中旬には名古屋の方に転勤になるとか、また福井で会える機会が増えそうですね。

●思い切りROBAの紹介

とにかく、ROBAも第2回目に「バスマップサミット」を経験しております。この時に、はじめて「ホジロバ交通」という言葉が出てきて、ROBAの活動方針に「ホジロバ」が盛り込まれました。とか、「進歩ジウム」を行い、そのなかで「乗り継ぎ調査隊」を募り、如何に乗り継ぎが厳しいかの現実の体験と一方、公共交通って案外いいねという気付きをしてもらうワークショップをやったこと、全国都市再生モデル調査で得た成果についての詳細説明、のりのりマップを使って行ったTFP調査なるものの説明で実際に移動手段が車から公共交通へモーダルシフトした例の紹介、モビリティマネージメントの観点でのりのりマップが「デザイン賞」を受賞したこと、そして福井県からバリアフリーに関する活動に対する「賞」を受賞したことなど、ROBAの活動のうち、「のりのりマップ」に絡むことを思い切り紹介。極めつけは、自分たちでマップもつくり、巡回バスをましらせようとしている「森田地区文化委員会」の活動事例などにも踏み込んで紹介。また、具体的なものとして「地域時刻表」、のりのりマップに表示した記号で「乗換可能駅」を掲示、そのエリアの「地域時刻表」を見て乗換の時間などがわかる仕組みなど説明、シビルミニマム(最低基準)と勝手に説明、沖縄でもこれを実施されてはいかがか?などと提案をして持ち時間の40分を消化した次第です。

●沖縄のこと

沖縄は今回初めてです。時間もなかったこともありますが、もっぱらバスと電車(モノレール)を乗り継いで市内探索をしました。気が付いたら「守礼門」などの観光地を行ってません。

谷田貝氏が沖縄の交通についてこう説明しておりました。

沖縄の公共交通についてみると、既存の路線バスでみると、民間事業者5社と1自治体が約100系統運行しており、1日あたり4,000便、約8万人が利用しているとのこと。また、2003年に開通した「ゆいレール」の利用者も1日40,000人もあり、しかも、増加の傾向にあるという（その要因が観光か地元利用かは不明）また、交通機関別力客輸送分担率は沖縄県が79.7%に対し群馬県が89.9%、自家用車1台当り人口でみると、沖縄は2.13人で全国32位、ちなみに東京は3.86人で47位、また1世帯当りの自家用車は福井が1.75台で全国1位、沖縄は1.26台で27位と数字で見るとはそれほど「クルマ社会」というわけではないという事実を発見した。

とはいってもやはりクルマへの依存は高いと思います。

●トランジットモールを体験

沖縄といえば「国際通り」が有名です。ここでは丁度2年前から毎週日曜日の12時から6時まで約1.5kmの区間を「トランジットモール」としてバスは1両のみが通行できる状態で、歩行者とバスが並列にいる状態はなんとも奇妙です。路上ではゆっくり散策する方、派手なパフォーマンスをする方などまちまち。このトランジットモールがあるというので来外者が1.5倍増加したという話を聞きました。



当日の説明風景 左から谷田貝氏、足立氏 説明している私。



ゆいレール（定員67名）



トランジットモール実施状況



バス停①



バス停②



トランジットモール



実施前



バス停③

2月21日(土)に福井新聞社「風の森ホール」にて金田研究室学外プレゼンテーションが開催されました。「ROBA とは何の関係があるのか?」と聞かれますと、福井鉄道の卒業研究プレゼンテーションが行われたためです。午前10時からの開催でしたが、約50人と100人には満たされませんでしたが入場者数としては予想以上でした。当日は第1部、第2部に分けて開催され、福井鉄道の研究は第2部の1番目に発表されました。しかし、私は寝坊により第1部は聴けませんでした。ギリギリで第2部には間に合い、福井鉄道の研究発表を聴くことができました。プレゼンテーションでは福武線の説明、アンケートを主要駅で行い、それを基に改善すべき点やこれからの福武線の在り方などを紹介。そして、仁愛大学生が主催する福井鉄道感謝祭および実施した時、また実施後の反応を紹介しました。

全プレゼンテーション終了後には質疑応答が行われ、鳥居さんも書いているように福井鉄道の佐々木専務から「自分たちでは出来ないようなイベントを実施し運転体験の免許証を発行するという思いもよらないもので、大変感謝している」という感謝の言葉とともに開催による乗客のきっかけづくりが出来るとしてイベントの継続を行ってほしいとの言葉もありました。私としては福武線はこれからも生活を担っていく交通手段であると思うので私たち大学生もそうですが沿線住民の「乗る」「残す」という思いが必要だと思いました。そうするためには仁愛大学のような福武線に関連したイベントを通して乗ってもらうことが大切だと思います。私もじきにゼミに入らなければならないので金田研究室に入って先輩の後継者として感謝祭の実施をしていこうと思いました。



「福井鉄道の利用促進に向けて」のテーマで発表された内容は主に、福武線の現状分析、利用者アンケート結果、感謝祭イベントの実施報告でした。

発表終了後、「感謝祭イベントには県外からの参加も多かったらしいが、どのような告知をしたのか。」との質問があり、「県外のマスコミに直接働きかけたわけではないが、福鉄のホームページにイベントの案内を掲載していただいたため、それを見て興味を示していただいた」とのことでした。

また、福井鉄道の佐々木専務から、「このようなイベントは、弊社の社員だけではマンパワー不足でできないので、今回仁愛大学の学生に協力していただいて大変感謝しています。沿線の小学校や児童館に、イベント告知のわかりやすいポスターも制作して掲示いただきました。電車運転体験の参加記念に配布した免許証も、学生オリジナルのアイデアで感心しました。

学生の皆様は、当日スタッフとして大変だったと思いますが、子供の喜ぶ顔を間近に見られたことで、大きな達成感を得られたことと思います。今後とも、金田研究室の皆様にはお世話になるとは思います。どうぞよろしくお願いいたします。」との感謝の言葉がありました。

報告 / 鳥居

福鉄の福井新駅以南の路盤改良が始まりました。夜の11時半過ぎに大雨が降ってきたのかと思って外をのぞくと、線路沿いにバラスを撒く作業でした。だいぶバラスが減って、枕木が浮いていましたからね。2両連結していました。

朝起きてみると、雪が降ったように白い、真新しいバラスの山？こんな高いのが本来の高さなのかと思うぐらいでした。



2,3日続いたので、こんどはバラスを絞めるための機関銃放射音が聞こえるのでしょうか？線路もかなり波打っていますし、揺れが収まるなら沿線住民としては我慢しないと。

週末に電太2号が遊びにきたので、いっしょに福井新駅へ出かけてちょっと「電ちゃん」のまねごと。バラス満載の電車と、今年はあまり活躍の場がなかった除雪車がお休み中でした。お疲れ様です、これからもよろしく。



ゆうじんの部屋 書籍紹介 part 2

人は意外に合理的 ティム・ハフォード 著
遠藤真美 訳 ランダムハウス講談社
1800円+税 ISBN978-4-270-00436-4 C0030

オーラルセックス、犯罪などまで社会規範と刑罰と損得勘定でやるかどうか決まるのか。仮説を立てて統計を使って検証すると、どうもそうらしい。道徳の授業ではないけれど、みんなが規則を守らないと守った人が得な社会にならない。合理的な行動が繁栄する国になる場合、貧困が続く場合があるのはおもしろい。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

照ちゃんの気になる風景 part16



私の居住地はJR森田駅とJR春江駅のほぼ中間に位置する。雨の日、福井駅前に出るときは、えち鉄中角駅でP&R。金沢方面に行くときはこのJR春江駅駐車場をよく利用する。最近、気がついたのですが2日間でも300円ではあーりませんか！これは使える。1泊2日のJR利用はこの駐車場はお勧めです。

それにしても、3日目から1日ごとに500円加算はなかなかすごい金額です。6日目以降は強制撤去でしょうか？



作 / 漆崎 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「政党助成金があるのに、お金集めに奔走するせんせい方々？情けない！」

塚谷(副編集長)

「WBC日韓線、ワールド勝ちの後、完封負け・・・」

内田(発行責任者)

「今年は春が早すぎ・・・四季も乱れているね！」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>